

3月も役立つ講座がいろいろ!



シングルマザーの会

◆3月5日(日) 13:30~15:30
 場所: 参画センター 相談室
 参加費: 無料 * 毎月おおむね第1日曜日に開催



子育ておしゃべりサロン

◆3月8日(水) 10:00~12:00
 場所: 参画センター 学習研修室3
 参加費: 無料 * 毎月第2水曜日に開催



摂食障がい家族の会

◆3月19日(日) 13:30~15:30
 場所: 参画センター 相談室
 参加費: 無料
 * 毎月第3日曜日に開催



男女共同参画のキーワード

クォーター制

政党に女性候補者の擁立を促す法案が、超党派の議員立法により国会で成立する見通しとなった、との報道があった。政府は、「女性活躍」を掲げ、「2020年までに指導的地位の女性割合を30%にする」を目指す。女性の進出はまだ進んでいない。とくに議会は圧倒的な男性社会であるといえよう。女性国会議員は衆議院で44人(9.3%)、参院で50人(20.7%)。国際機関「列国議会同盟」が1月に公表した下院の調査では、日本の女性衆議院議員の割合は統計対象国193カ国のうち163番目だ。都道府県議会における女性議員の比率も、2015年12月現在で10%を下回っている。

予定されている法案は強制力がなく、政党の努力目標にとどまる。それでも、法成立後は国政選挙や地方議員選挙のたびに、各政党は女性候補者の比率が問われることになる。女性議員が増えれば、より多様な声が議会に届く効果が期待できる。

海外では、100を超す国が候補者や議席の一定割合を女性にする「クォーター制」を採用している。フランスや韓国などは憲法や法律で女性候補者の割合を義務づける。一方、オランダや英国などでは政党による自発的なクォーター制をとる。ドイツでは、緑の党が1986年に選挙名簿に女性と男性を交互に載せる手法を導入したのをきっかけに、女性票を意識した他の政党にも、

女性弁護士による法律相談

◆3月22日(水) 13:30~15:30
 講師: 富家 佐也加さん(弁護士)
 相談人数: 4人(1人 30分)
 * 申し込み受付: 3月3日(金) 午前9時から



さんかく交流サロン

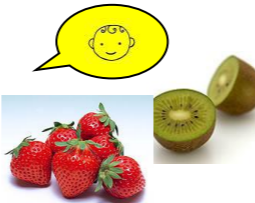
「共感、爆笑、時代が見える川柳づくり」
 ◆3月23日(木) 13:30~15:00
 講師: 多田 誠子さん(さぬき番傘)
 場所: 学習研修室2 定員: 20人程
 参加費: 300円(資料は前回と同じもの)



4月の予告

転勤者とさぬき人のはじめまして講座

「さぬきのうまいもんと やさしい讃岐人との出会い」
 ◆4月20日(木) 13:30~15:30
 場所: 学習研修室3・交流サロン
 定員: 30人程度 参加費: 600円
 託児: あり(1週間前までに要予約)



自発的なクォーター制が広がった。いまや連邦議会の女性議員は4割に迫るという。日本でも女性の政治参加を当然と受け止める社会が求められる。そのためには、依然として女性の負担が重い育児や家事、介護などの役割分担をはじめ、女性が政治に参加しやすい環境をどうつくっていくかが課題。今回の立法を、それに向けた方策を社会全体で考えていく契機になることだろう。

国内外では、女性政治家が存在感を示した1年だったといえる。国や政党のトップが誕生する一方で、ガラスの天井に阻まれることもあった。スウェーデンでは、1995年以降、女性職員に対する研修、教育に力をいれており、イギリスでも、メンター制(指導・相談役の人が新入社員や後輩をサポートする制度)を導入するなど教育・指導に重点がおかれている。また、韓国においては、女性の昇任・任用に積極的に活用するため、管理職女性公務員に関するデータベースを構築し、女性管理職の人材情報を提供している。

日本における女性国家公務員の採用・登用拡大のための取組は、第一歩を踏み出したところ。今後、各府省において策定された採用・登用計画に盛り込まれた目標達成に向けて、各国において行われている様々な手法が参考になると思われる。

(参考資料: 内閣府男女共同参画局資料、朝日新聞)

2月の行事から

2/12

香川県・高松市主催 女性が輝く地域づくり講演会 女性の力を社会に生かす ~市長を二期務めた経験から~

参加者数: 約150人 場所: たかまつミライエ1階多目的室
 講師: 白井 文さん(元尼崎市市長)
 講師は、「女性は上司からチャレンジを薦められたとき、自信がない、経験がないと尻込みしがち。私はよう断らなかった。現在がある。男性は女性にあなたの〇〇を評価していると具体的に話し、3~4度背中を押してほしい」と話された。尼崎市長となって2年半後、JR福知山線の脱線事故が起き、その時の日本スピンドル(株)の救助活動、市職員の対応などをリアリティに話され、自分の立場に置き換えて考える組織づくりの重要性を話された。大切なのは、男女共に「健全な野心をもって高みを目指すこと」と強調された。



2/23

さんかく交流サロン 落語を楽しもう!

参加者: 13人 場所: 学習研修室3
 公演: さんかく亭ゆめまるさん
 「落語を楽しもう!」というテーマで、落語の演目を2つ、なぞかけや落語体験などをして、楽しいひとときを過ごした。(参加者の感想)「いろいろ工夫されて良かったです」「面白かったです。人前で話すことは難しいことがわかりました」「面白かった。自分も落語を習おうかと思いました」「ふしぎな楽しさがありました」「次回も参加したい」等。



2/22

男女が共に活躍できるまちづくり講座 やさしい英語で男女共同参画を学ぶ講座

参加者数: 12人 場所: 学習研修室3
 講師: 大西 真由美さん(高松トーストマスターズクラブ)
 参画センター初めての試みで、「男女共同参画」を英語で学び合った。会話を主体とした講座で、年齢層が若く参加者も楽しそうで、大変好評だった。講座を続けて欲しいという意見が多数あった。(取り上げてほしいテーマ)「職場での男女の差」「育児に使える日常会話」「日本の文化について」「海外旅行に行った時の便利な会話」



2/24

男女が共に活躍できるまちづくり講座 お一人様、お二人様の老後を考える講座

参加者数: 61人 場所: 学習研修室全体
 講師: 川根 由美子さん(主任ケアマネージャー)
 最初に「おひとりさまを考える」のDVDを上映し、その後、講師の川根さんに介護の現状について話してもらった。(参加者の感想)「一人暮らしでもいろんなやり方があるとの話が参考になった」「健康第一、物忘れは加齢と共に増えてくるが、「生活に支障がなければよししよう」という言葉が心にしみた」等。



トピックス

参画センター見学&ミニ研修のおすすめ

<参画センター>を見学してみませんか?

見学は、随時受け付けています。電話、FAXなどでお申し込みください。

(参画センター見学例)

- ① たかまつミライエ6階の参画センター及び1階から5階の見学をする
- ② 学習研修室で、DVDの視聴やミニ講座をする。

■お問合せ先 087-833-2282まで

- *映像によるミニ講座
- 「参画センター21年のあゆみ」(パワーポイント)
- 「男女共同参画を未来につなぐ」(パワーポイント)



交流サロン

- *DVD視聴
- 『おひとりさまを生きる』
- 『マララ~教育を求めて闘う少女』
- 『ネットワーク社会の情報モラル』等

